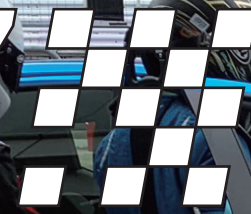


NETZ TOYAMA



Racing

Race-Report 2022 / Vol.11

大会名称	GOODYEAR Dream Cup2022
	Yaris MT class
開催日程	2022.12.17
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	# 123 NETZ TOYAMA Racing Yaris
ドライバー	山口竜也、松井宏太、水野大
参加台数	20台
予選順位	1位
決勝順位	4位

今年の締めくくりとして、昨年に引き続き、富士スピードウェイへ降り立った。

「GOODYEAR Dream Cup 2022」へ参戦するためだ。

昨年はヤリスクラスのチャンピオンを獲得することができたため、目標は勿論2連覇だ。

今回のドライバーは昨年に引き続き、当社ドライバー「山口竜也」とGR86カップクラブマンクラスに参戦している「松井宏太選手」の2名と新たに「水野大選手」の3人で参戦だ。

木曜日より現地に入り、調整を行ったが、その日の午後、クラッチに違和感が発生。

メカニックによる現地での修理を行ったが、どうすることもできず、一度富山に戻ることを選択する。

そのため、普段より練習走行が少ないまま、本番を迎えた。

17日（予選）ドライバー：山口竜也

チームの作戦は予選は1位通過し、また1周でタイムを出し、少しでも燃料を抑える作戦だ。

結果は作戦通り、1周で1位を取ることができ、決勝は一番前から走行を行うことができることになった。

17日（決勝）

10時より長い長い6時間耐久レースが開始された。

スタートをうまく決め、順調にタイムを重ね、1位のまま山口竜也より松井宏太選手にドライバーチェンジ。

しかし、ここで走路外走行で5秒のペナルティが発生。レース終了時に5秒プラスされてしまうことになった。

1位でゴールするには2位のチームと5秒の差をつけてゴールしないといけなくなった。

開始されて2時間ほど経過したタイミングで松井宏太選手から水野大選手へドライバーチェンジ+給油を行った。

ルールでは一度ピットに入ると7分滞在しないといけなかったため、タイヤ交換まで終えてタイミングを見てレースに

復帰しないといけなかった。ここでぎりぎりを狙いすぎたため6分59秒でレースに復帰してしまうミスが発生。

ペナルティとしてもう一度ピットに戻り、足りなかった「1秒」経過してからレースに復帰しないといけなくなった

これで40秒ほどロスしてしまい、4位まで落ちてしまう。

その後追いつけを図るが、SCが3回出るほどの荒れたレースになり、追いつけ虚しく最後はSCのままゴール。

2連覇を目標にして参戦したが、表彰台にも上ることはできずに今年1年のレース活動は終了した。

このような結果になってしまったが、この悔しさを糧に、来年こそは1位を奪還したいと思う。

今年はGR86カップでの優勝などあり、とても飛躍することができた一年でした。

それも沢山の応援を頂いた結果、達成することができたと思っております。

来年も引き続き沢山のレースに参戦いたしますので、引き続き応援のほどよろしくお願い致します。

1年間、本当に応援ありがとうございました。